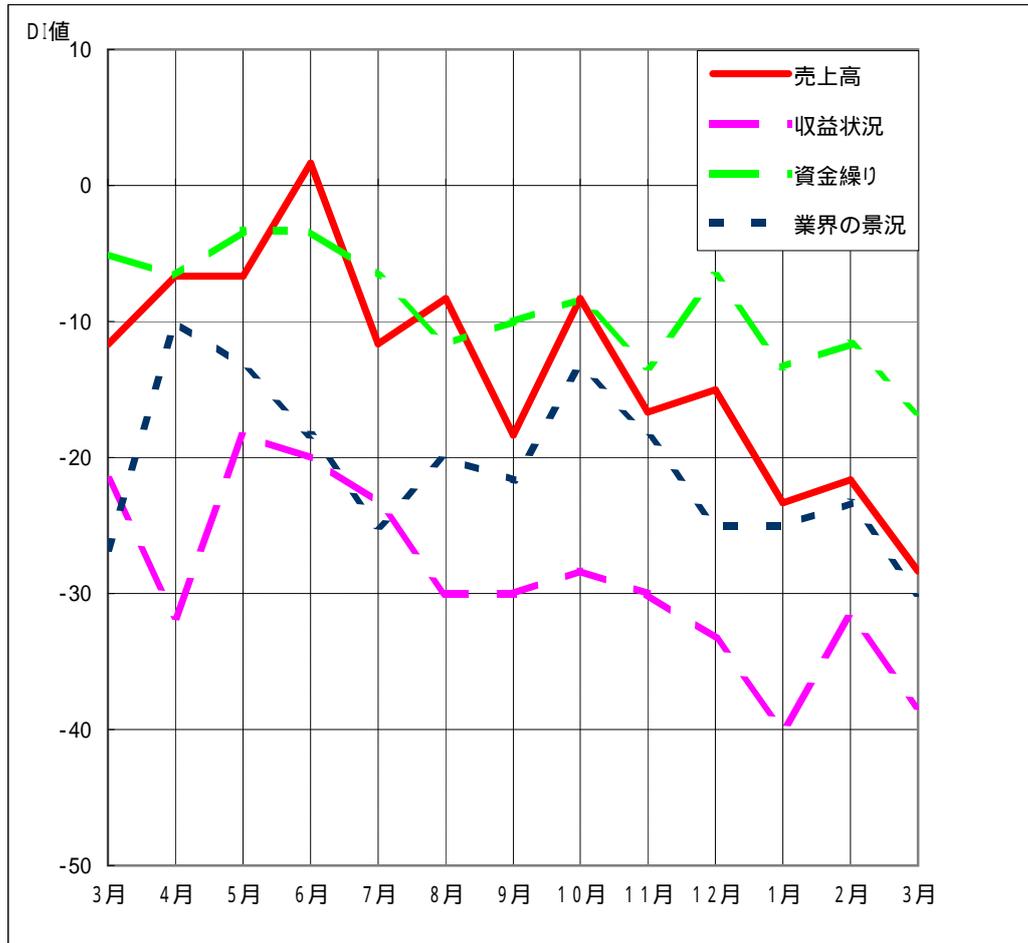


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成18年3月～平成19年3月

単位:ポイント



	H18						H19						
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上高	-11.7	-6.7	-6.7	1.7	-11.7	-8.3	-18.3	-8.3	-16.7	-15.0	-23.3	-21.7	-28.3
収益状況	-21.7	-31.7	-18.3	-20.0	-23.3	-30.0	-30.0	-28.3	-30.0	-33.3	-40.0	-31.7	-38.3
資金繰り	-5.0	-6.7	-3.3	-3.3	-6.7	-11.7	-10.0	-8.3	-13.3	-6.7	-13.3	-11.7	-16.7
業界の景況	-26.7	-10.0	-13.3	-18.3	-25.0	-20.0	-21.7	-13.3	-18.3	-25.0	-25.0	-23.3	-30.0

3月のDI値をみると、前年同月より上記の4項目全てで悪化した。「売上高」は16.6ポイントの悪化でマイナス20%台に推移した。「収益状況」も同じく16.6ポイントの悪化でマイナス30%台に推移、「資金繰り」は、11.7ポイントの悪化で、マイナス10%台に推移した。「業界の景況」は、3.3ポイントの悪化で、マイナス30.0となった。

ここ3か月の景況は、2月がやや持ち直し傾向にあるように見受けられたものの、寒さが戻った影響からか、一進一退という状況に戻ってしまった事が窺える。

組合の特記事項からは、製造業においては「鉄鋼・金属」「一般機器」の一部で好調である旨の報告があるが、全体的には依然として続いている原材料費の高値推移等により収益性が厳しい。

非製造業においては、2月の暖かさ及び3月の寒さにより、「商店街」「サービス業」を中心に売上不振である旨の報告が見られ、「業界の景況」においては、4割強が悪化との回答で、好転とする回答がなかった。

また製造業・非製造業共通のものとして、年度末をむかえ、後継者難等による組合員の脱退についての報告が多く見受けられた。